



あなたの
生活を支える
手伝いを



薬剤師にも
させてください。

薬 劑 部

Department of Pharmacy

当院の薬剤部は、薬剤師18名、補助者5名で「薬」とおして患者さんの治療に関わっています。これまでの薬剤師像は、薬を取り揃えるといったイメージが強いかも知れません。しかし今は、病棟や外来で医師や看護師などの多職種と協働しながら、患者さんの年齢や臓器機能など個々に適した薬の選択や投与量の調節といった治療設計の段階から支援しています。また、患者さんへ服薬サポートを行いながら、飲み合わせや治療効果の確認、副作用の早期発見・対策に努めることが私たちの使命です。患者さんがより安心して医療を受けられるように責任を持って仕事をしています。

処方せんに基づき、迅速かつ正確に調剤します。

抗がん薬はアイソレーターという特別な設備内で調製します。

市販されていない特殊な薬も調合します。

検査値や薬の副作用をモニタリングします。

患者さんに薬の効果や飲み方についてわかりやすく説明します。

患者さんが入院後も安全に薬物療法を受けられるよう院外薬局との情報共有を行っています。

薬に対する様々な問い合わせについて情報提供します。

みえないところで薬物治療を支える

～Hospital Pharmacist～

より安心できる薬物療法を提供するために

専門: 認定薬剤師 Pharmacy Specialist

高度な医療の進歩に対応するため、当院にはより専門的な薬物療法について知識・技能を備えた専門・認定資格を有する薬剤師が在籍しています。(2022年7月現在)

日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師	1名(県内14名)
日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師	1名(県内4名)
日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師	1名(県内3名)
日本循環器学会心不全療養指導士	1名(県内薬剤師12名)
日本臨床栄養代謝学会栄養サポートチーム専門療法士	1名
日本糖尿病療養指導士	1名
公認スポーツファーマシスト	1名
日本災害医学会PhDLSプロバイダー	1名
BLSプロバイダーコース	1名
やまぐちアレルギーサポートスタッフ	2名
日病薬病薬学認定薬剤師	5名
日本薬剤師会JPALSレベル6	1名
日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師	4名



リハビリテーション科

急性期の医療を支える

スタッフ一同、常に向上心を持ち“質の高い医療”を提供することを基本理念とし、患者さんの向上心を引き出しながらリハビリテーションを行うよう心がけています。

また、急性期病院におけるリハビリテーションとしての役割を果たすべく、早期リハビリテーションに力を入れています。全身管理下での離床練習や生活復帰を目指した日常生活動作練習、経口摂取再開へ向けた嚥下練習などを発症や手術後の早期から行います。多くの診療科や多職種と連携しながら、患者さんが早く元の生活に戻れるよう、日々取り組んでいます。

医師の指示のもと、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が目的に合わせたリハビリテーションを提供します。



医師

理学療法士 (PT)

寝返り・起き上がり・立ち上がり・歩行などの基本的な動作ができるようにサポートします。

作業療法士 (OT)

病気や怪我などで障害された手を回復させたり、食事やトイレなどの生活動作の練習を行います。

言語聴覚士 (ST)

言語や聞こえ方・飲み込みなどの機能の維持や向上をサポートします。

主な取得資格

認定理学療法士 (管理・運営)	1
認定理学療法士 (運動器)	1
認定理学療法士 (発達障害)	2
認定作業療法士	2
骨粗鬆症マネージャー	2
NST専門療法士	2
3学会合同認定呼吸療法士	2



一緒に
がんばりましょう



多職種でカンファレンス



“向上心”



装具療法



さあ
起きましょう

発症・術後早期から



早期離床

歩きましょう



歩行訓練

ハイ
飲み込んで下さい



嚥下評価・訓練

私たちが
サポートします



看護部

周産期医療の充実に向けた救急隊との連携

当院は地域周産期母子医療センターであり、下関地区・長門地区における周産期医療の基幹病院としてハイリスク妊産婦・ハイリスク新生児を24時間体制で受け入れています。

令和4年9月4日(日)～9月10日(土)は救急医療週間でした。それに関連して、9月13日(火)に「救急隊員による分娩介助及び新生児への処置、管理について～予期せぬ自宅分娩・車中分娩における初期対応～」をテーマに、25名の救急隊員(救急救命士含む)を対象として、産科医師・助産師・看護師で研修を行いました。助産師や新生児集中ケア認定看護師が講義したあと、グループに分かれてシミュレーションを行いました。

研修会を通して「救急隊員が何をしたらよいかがよく分かった」との意見や、「現場で体験することが少ないため定期的に行って欲しい」などの要望も聞かれました。自宅や車中での分娩では適切な処置が必要であり、年に数件とは言え、それに遭遇する救急隊員への研修会は重要であると再認識しました。今後も研修会を継続し、救急隊と連携を取りながら、安全安心な周産医療の提供に努めていきます。



分娩

分娩の流れを理解してもらい、実際に練習をしているところです。



新生児の初期ケア

生まれたばかりの新生児へのケアを実際に練習をしているところです。





治療と仕事の両立支援の相談窓口

産業保健総合支援センター相談員が休みのとり方、会社との付き合い方、治療のスケジュールに合わせた働き方など、仕事を続ける上での工夫について、どなたでも無料で相談することができます。



日時 毎月第3金曜日
10:00～13:00



場所 1階ロビー
(インフォメーションでお声をかけてください)

ふくふくサロンについては当面の間、中止といたします。再開が決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。

地域医療支援研修会 (令和4年10月～12月) <時間> 18:00～19:00 / <場所> 管理棟 講堂(3階)

開催日	テーマ	講師
10月 27日(木)	基礎から学ぶ乳がん看護	乳がん看護認定看護師 日高 由衣子
11月 24日(木)	糖尿病のキホンと患者指導のコツ	糖尿病看護認定看護師 安田 直子
12月 22日(木)	感染対策の基本	感染管理認定看護師 國弘 健二

地域医療支援病院の教育活動の一環として、毎月1回(第4木曜の18時～)研修会を開催します。是非ご参加下さい。※事前の申し込みは不要(駐車場は当院外来駐車場をご利用下さい) ※参加される方はマスク着用をお願いします。過去14日以内に、山口県外に移動歴がある方は参加制限をしています。

健康講座の予定 (令和4年10月～12月) <時間> 10:00～10:30 / <場所> 会議室(2階)

開催日	テーマ	講師
10月	5日(水) 窒息の対応	救急看護認定看護師 藤枝 絵美
	12日(水) 病院で問題になっている菌について	感染管理認定看護師 古賀 香奈子
	19日(水) 高齢と心不全について	慢性心不全看護認定看護師 山口 健二
	26日(水) 赤ちゃんの変化	新生児集中ケア認定看護師 米村 幸子
11月	2日(水) 手術前に知って得ること	手術看護認定看護師 西嶋 和弘
	9日(水) 減塩のススメ	糖尿病看護認定看護師 安田 直子
	16日(水) がんの痛みを緩和する医療用麻薬の副作用と対策について	がん性疼痛看護認定看護師 池田 恵里佳
	30日(水) 抗がん剤ってどんな治療?	がん化学療法看護認定看護師 清水 倫子
12月	7日(水) 乳がんのことをもっと知ろう	乳がん看護認定看護師 日高 由衣子
	14日(水) 睡眠の話	集中ケア認定看護師 岡崎 美幸
	21日(水) 放射線を用いたがん治療	がん放射線療法看護認定看護師 倉富 彰
	28日(水) 赤ちゃんの五感の発達について	新生児集中ケア認定看護師 安田 さくら

教室・相談のお知らせ (令和4年10月～12月)

	実施日	時間	場所	参加費	お問い合わせ
糖尿病教室	当面の間、中止といたします。再開が決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。				
なんでも相談窓口	10月・11月・12月(月)～(金)	8:30～17:00	医療相談室	無料	医療相談室
マザークラス	当面の間、中止といたします。再開が決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。				

おことわり 上記の日程は、諸事情により変更もしくは中止となる場合があります。ご了承ください。※腎臓病教室は、入院患者のみを対象とするため削除となりました。

診療実績報告 (令和4年5月～令和4年7月)

	外来患者数	入院患者数	新入院患者数	平均在院日数	救急車受入件数	手術件数
令和4年5月	14,558人	10,621人	869人	11.79日	293件	759件
令和4年6月	16,658人	10,534人	853人	11.37日	322件	849件
令和4年7月	15,578人	10,897人	862人	11.61日	363件	792件

基本理念

「心のかような質の高い医療」を提供します

基本方針

「患者の幸せ」のため、質の高い医療の提供を目指します
よりよき医療環境を求めて、地域と共に保健・医療・福祉の充実を目指します
職員の協働活動のため、よりよき環境づくりを目指します

患者さんの権利と責務

- 個人の尊厳を尊重され、医療者との相互の協力関係のもとに良質な医療を受けることができます。
- 病状・検査・治療などについて、十分な説明と情報をうけることができます。
また、よく理解できなかったことについては十分理解できるまで質問することができます。
- 十分な説明と情報提供を受けた上で、医療者が提供する検査や治療方法などを自らの意思で選択することができます。
また、他医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 当院での診療の過程で、医療者が得た個人情報やプライバシーについては厳正に保護されます。
- 所定の手続きをおとりにすることにより、ご自分の診療録の開示をお求めにすることができます。
- 良質な医療実践のため、自分自身の健康に関する情報を正確に提供する責務があります。
- すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの入院生活や病院職員の医療提供に支障を与えないように配慮する責務があります。
- 安全で優しい療養環境を維持するために、医療に関する法律や病院で決めた約束事などをお守り頂く責務があります。
- 医療費を支払う責務があります。

